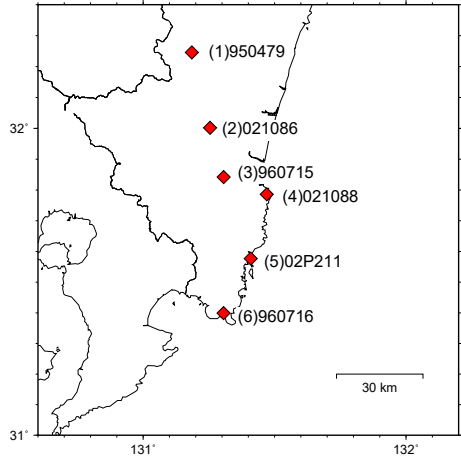
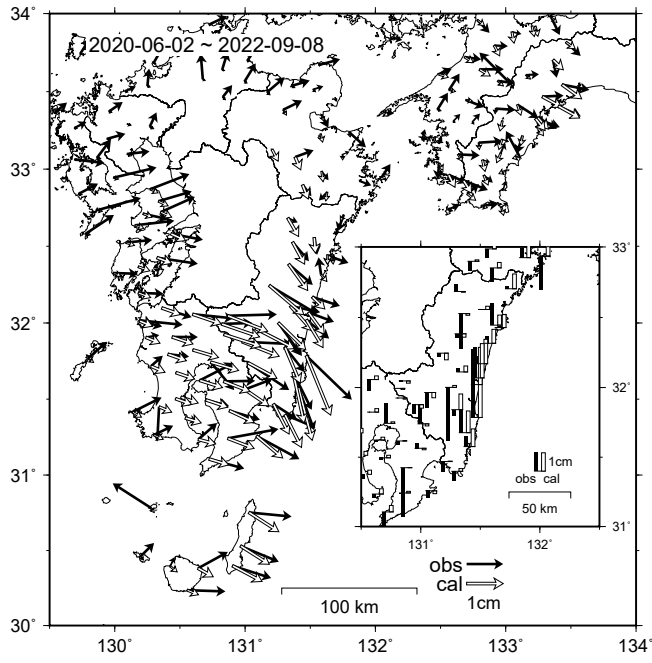
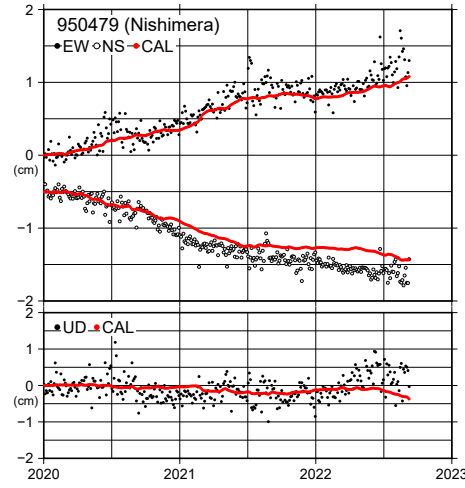


九州地域の観測点の非定常地殻変動時系列と計算値

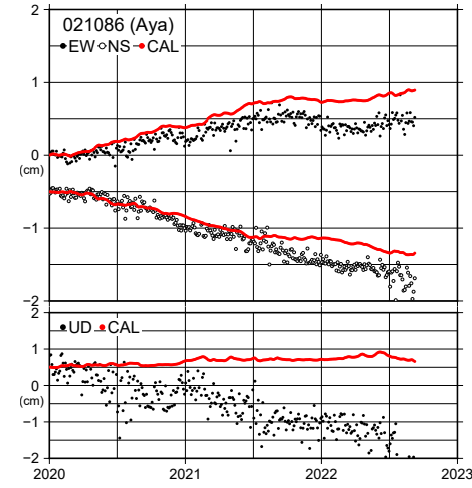
観測値（黒）と計算値（白）の比較



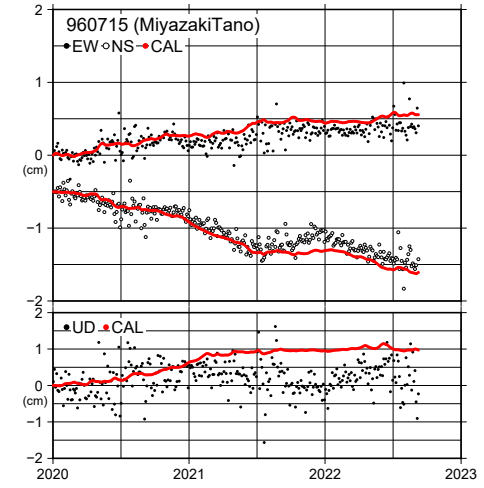
(1) 西米良



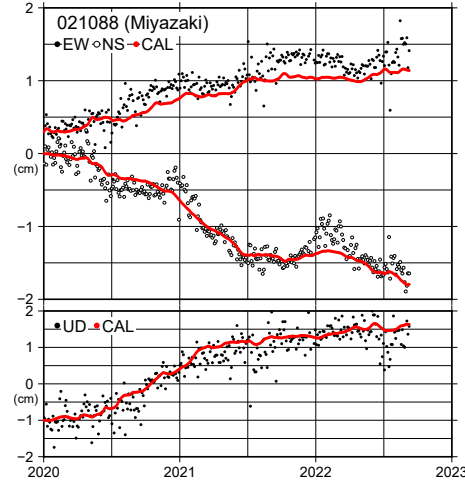
(2) 綾



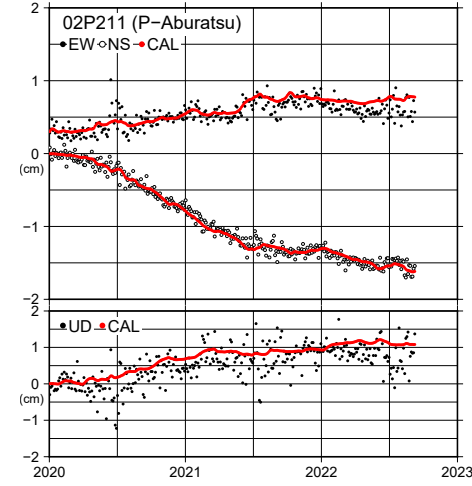
(3) 宮崎田野



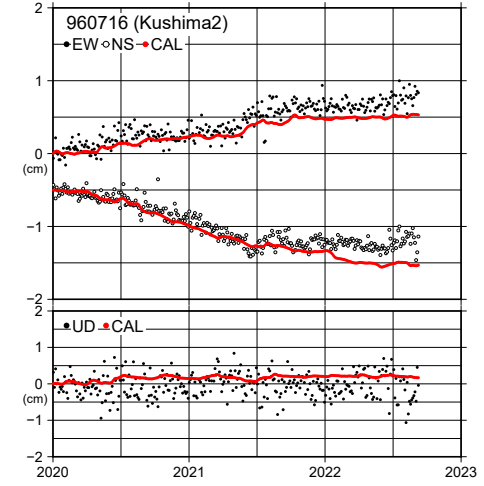
(4) 宮崎



(5) P油津

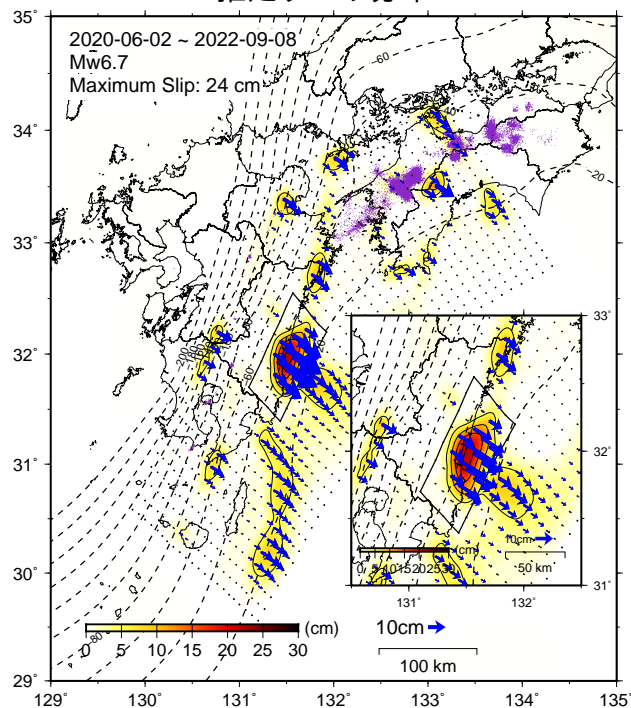


(6) 串間2

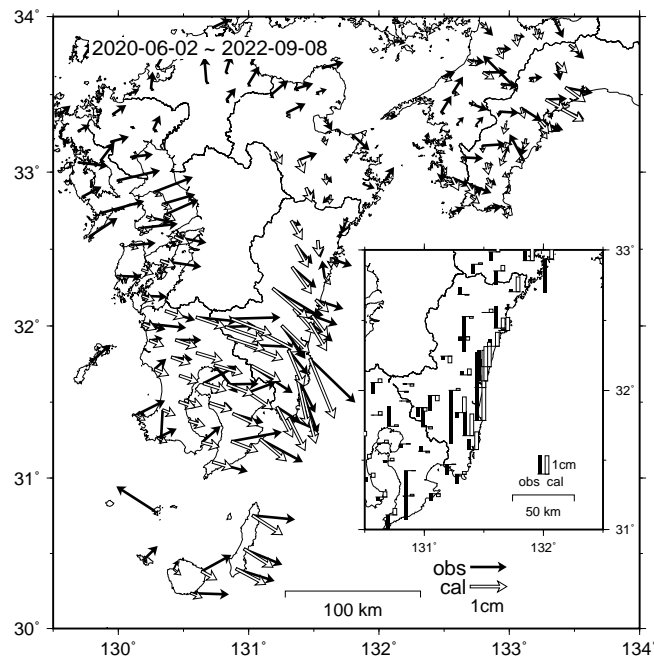


GNSS データから推定された日向灘南部の長期的ゆっくりすべり（暫定）

推定すべり分布



観測値（黒）と計算値（白）の比較

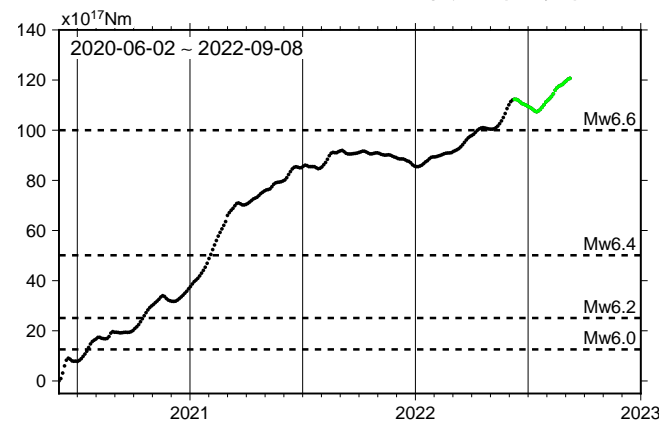


Mw 及び最大すべり量はプレート面に沿って評価した値を記載。
 すべり量（カラー）及びすべりベクトルは水平面に投影したものを示す。
 推定したすべり量が標準偏差（ σ ）の3倍以上のグリッドを青色表示している。

紫丸：低周波地震（気象庁一元化震源）（期間：2020-06-02～2022-09-08）
 黒破線：フィリピン海プレート上面の等深線（Hirose et al., 2008）

使用したデータ：GEONET による日々の座標値（F5、R5 解）
 ※電子基準点の保守等による変動は補正済み
 ※平成 28 年（2016 年）熊本地震の余効変動等が顕著に見られる観測点は除外している。
 ※日向灘の地震（2022-01-22, Mw6.6）の地震時変動を除去している。
 トレンド期間：2012-01-01～2013-03-01（年周・半年周成分は補正無し）
 モーメント計算範囲：左図の黒枠内側
 観測値：3 日間の平均値をカルマンフィルターで平滑化した値
 すべり方向：プレートの沈み込み方向と平行な方向に拘束
 固定局：三隅
 ※共通誤差成分を推定

すべりのモーメント ※ 時系列（試算）



※モーメント
 断層運動のエネルギーの目安となる量。
 地震の場合の Mw（モーメントマグニチュード）に換算できる。